



学校だより ながや

今年度も子どもたちの様子についてホームページを活用してお知らせします。月1回程度を予定していますので、「学校日記」等のページをご覧ください。

学校ホームページ

QRコード



「私だけじゃできないけれど、『幸せになりたい』というみんなの願いをかなえるためには、一人一人が相手の気持ちを考えて、発言や行動をすることでできると思いました。」

校長 神田 敏之

5年生を対象に人権移動教室を行いました。横浜国際人権センター講師の方から次のような話がありました。

「人の願い事は、死にたくない、長く生きたいということと幸せになりたいということです。この二つのことを大切にしたいということが人権です。」

上の振り返りを書いた子どもは、ブラッシュアップ委員会に所属をしていて、この話を受けて、「いじめをなくすということは、みんなに一人一人の権利があるということなので、まずは永谷小から人の権利がみんなにある状態を目指します。」と自分ができることを考えていました。

勉強するのは何のため？

子どもからこのように聞かれたら何と答えるのでしょうか。「大人になって困らないように」「勉強するのが子どもの仕事」などと答えるかもしれません。

夏休み中は自分で時間をコントロールできる期間です。学習をするということを主体的に（自分のリーダーを働かせて）行うことが期待されます。家の人「遊びの前に先に勉

強しなさい」などと言わなくても済むようにしていきたいです。

大人が子どもたちの成長を見守るときには、指導する場面も出てきます。その時に「～しなさい」と表面の行動だけ伝えるのではなく、その理由を伝えることにより子どもは納得をしてできるようになります。

スマートフォンやゲーム機の使い方も同じです。寝る直前にしないほうがよいという理由をブルーライトの影響など健康面から説明をするということなどです。Wi-Fiを21時に切る時間の設定をする、ペアレントコントロールでスマートフォンの使い方に制限をかけることを「危険を避けるため」などの理由を説明すれば納得できます。

「勉強するのは何のため」という問いに対しては、誰もが納得する正解はありません。自分なりの納得解を見つける必要があります。社会で必要とされている知識の大半を私たちは学校で学んでいます。ですから、ある程度好き嫌いにかかわらずしなければならない勉強はあります。その他に自分が興味をもっているから深めたいという勉強もあります。その勉強の仕方は自由です。自分が生きたいように生きるということは、幸せになりたいということにもつながります。そのための学ぶ力をつけるということが一つの答えになるのではないのでしょうか。

勉強する意味を家庭で話をし、子どもが納得し、夏休みに主体的に勉強をする姿が見られることを願っています。